

日本昆虫学会近畿支部 2008 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第 137 回例会 (昆虫学公開研究発表会)

開催プログラム

2008 年 12 月 13 日 (土) 兵庫県立 人と自然の博物館

日時 2008 年 12 月 13 日 (土) 11:00 - 19:30 (10:30 受付開始)
会場 兵庫県立人と自然の博物館ホロンピアホール (兵庫県三田市)
参加費 1 人 200 円 (懇親会は別途 1 人 2,000 円)

- ※ 受付は 10:30 からホロンピアホール 3 階で行います。本館 4 階または 3 階入口で学会参加者である旨を告げ、このプログラムを呈示し、入館ください。観覧券の購入は不要です。
- ※ 学会会員以外の方も聴講できます。観覧券(大人 200 円)を購入して入館し、ホロンピアホール受付で参加費 (1 人 50 円) をお支払い下さい。
- ※ 収蔵庫見学を希望される方、懇親会に参加される方は、準備の都合がありますので、事前にお申し出ください。

発表者の方へのお願い

- すべてのプログラムは一般公開です。
- 1 講演あたり 15 分 (発表 12 分、質疑 3 分) を厳守願います。予鈴 10 分、本鈴 12 分、終鈴 15 分で時間をお知らせします。講演取り消しがあつた場合は時間を繰り上げず、空き時間とします。
- 発表終了者には、次の講演の座長をお願いします。最初の講演の座長は、事務局で対応します。
- 口頭発表は、原則として、Microsoft Power Point または PDF ファイルによる発表とし、機器の操作はご自身で行っていただきます。OHP、スライドプロジェクタ等の使用を希望される場合は、ご相談下さい。講演には Windows XP 搭載のパソコンを用います。他の OS で作成された場合にはレイアウトが崩れるなどの問題が起きますのでご注意ください。データを**当日持参される場合は**、USB メモリ、CD-R 等で持参し、発表時に、自身でパソコンに接続してください。発表データをあらかじめ事務局宛に送付いただけると、時間の節約とトラブル防止に役立ちます。終了後確実にデータを消去しますので、**可能な方は、前々日までに**、電子メールの添付ファイル (数メガ以内の場合) または「データ便」などのサービスを利用し、人と自然の博物館八木 (yagi@hitohaku.jp) まで、データを送信ください。
- ポスター発表、標本等展示は、ホロンピアホール 3 階ホワイエで行います。スペースは 180cm 幅です。発表者ご自身で展示ください。

諸連絡

- 館内に食堂はありません。周辺のショッピングセンターで食事や買い物ができます。館内での飲食は可能です。
- 展示スペースには余裕があります。標本、各種配布物、研究室 P R 等、自由に展示いただけます。展示いただける方は、あらかじめご一報いただくと助かります。
- 懇親会は、本館 4 階実習室で行います。懇親会時に 5 分以内程度の簡単な報告や PR を行っていただけます。希望される方は事前にご一報ください。
- お申込・問合せ先: 兵庫県立人と自然の博物館 八木 剛 (電話 079-559-2001、E-mail: yagi@hitohaku.jp)



日本昆虫学会近畿支部 2008 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第 137 回例会
(昆虫学公開研究発表会)

プログラム

特別講演

- 11:00 同所的に分布するゴミグモの捕食寄生者, *Reclinervellus* 属の 2 種の寄生習性と生活史 (Hymenoptera: Ichneumonidae: Pimplinae) / 松本吏樹郎 (大阪市立自然史博)
- 11:30 マダラヤドリバエの寄生を克服するリュウキュウアサギマダラ (A danaid butterfly, *Ideopsis similis*, overcomes parasitization by a tachinid fly, *Sturmia bella*) / 〇平井規央・石井実 (大阪府大院・昆虫)
- 12:00 ~ 13:00 <<休憩>> 日本鱗翅学会近畿支部役員会

研究発表

- 13:00 1 ヒメボタル (*Luciola parvula*) 幼虫と餌生物の生息密度の関係 / 〇西嶋 翔・安岡拓郎・前藤 薫 (神戸大院・農学)
- 13:15 2 ダンダラテントウ大阪個体群の鞘翅斑紋多型の季節変異に死亡率・産卵数・孵化率が及ぼす影響 / 〇河上康子 (高槻市)・大橋和典 (豊中市)
- 13:30 3 ガガイモ科の送粉系に関する知見 (その 4): イケマへの飛翔性訪花者は送粉に貢献しているのか? コハナバチ・マルハナバチ・蛾類、および、アリ類の訪花行動の比較検討 / 浜西 洋 (兵庫県三田市)
- 13:45 4 コオロギ *Gryllus* #50 WEISSMAN 幼虫に見られる 2 種類の眠り (rest) とその機能 / 〇西尾良平・竹田真木生 (神戸大院・農学)
- 14:00 5 ミツバチ収穫ダンスの生理的側面 / 大谷 剛 (兵庫県立大・自然環境科学研)
- 14:15 6 ギンケハラボソコマユバチの産雌単性生殖とそのメカニズム / 〇古江 翔・前藤 薫 (神戸大院・農学)
- 14:30 7 日本産 *Zatypota* 属 (Ichneumonidae, Pimplinae, Polysphincta-group) の幼生期と寄主 / 松本 吏樹郎 (大阪市立自然史博物館)
- 14:45 8 ニホントガリシダハバチと同胞種シシガシラハバチの遺伝的様相と生物地理的考察 / 櫻井厚司 (神戸大院・農学)
- 15:00 ~ 15:45 <<収蔵庫見学・ポスターセッション・休憩>> 日本昆虫学会近畿支部役員会
- P1 ユアサハナゾウムシの奇妙な営繭 / 沢田佳久 (兵庫県博)
- P2 マメヤハズの飼育 / 沢田佳久 (兵庫県博)
- P3 ヒメボタルの発光時刻の地理的変異と気候との関係 / 〇安岡拓郎 (神戸大院・農学)・八木 剛 (兵庫県博)・前藤 薫 (神戸大院・農学)・竹田真木生 (神戸大院・農学)
- P4 モルフォチョウの構造色の種多様性 / 木下修一・神戸亮 (大阪大学)
- P5 地元西宮市・宝塚市におけるクロマダラソテツジミの調査研究 / 法西 浩 (ひとはく地域研究員)
- P6 モンシロチョウの翅の撥水性 / 〇棚橋一郎・榎本将典 (大阪工業大学工学部応用化学科)
- 15:45 9 北海道・長野産のチビガ科未知種の分類 / 〇小林 茂樹・広渡 俊哉 (大阪府大院・昆虫)・黒子 浩 (阪南市)
- 16:00 10 モモ園から発見されたイナゴマメマダラメイガの分類 / 〇北辻 類・吉安 裕 (京都府大・生命環境)
- 16:15 11 北陸地方のコムラサキにおける色彩二型間の遺伝的分化 / 〇長太伸章 (京都大・院・理)・大脇 淳 (里山科学館キョロロ)・曾田貞滋 (京都大・院・理)
- 16:30 12 白山にベニヒカゲの西限をたずねて / 小野克己 (京都市)
- 16:45 13 モルフォチョウの構造色研究の現状 / 〇木下修一・神戸亮・朱棟・蔡東生 (大阪大学・筑波大)
- 17:00 14 近畿地方におけるクロマダラソテツジミの発生状況と遺伝子解析 / 〇平井規央・坂本佳子・矢後勝也・森地重博・山本治・石井 実 (日本鱗翅学会近畿支部)
- 17:15 15 野生の動植物は誰のものか / 鎌田邦彦 (大阪市)
- 17:30 16 アサギマダラの移動-2008 年の速報 / 〇金沢 至・大島新一郎 (アサギマダラを調べる会)

<< 18:00 - 19:30 交流会 (本館 4 階実習室) >>